

平成29年度前期 大学院 学生による授業評価アンケート(修士・博士前期課程)集計結果

専修名	回答数					在 student 数	回答率
	履修年数				合計		
	1年	2年	3年	4年			
看護学	6	5	2	0	13	18	72.2%
リハビリテーション学	7	5	0	1	13	24	54.2%
健康福祉科学	3	3	1	0	7	15	46.7%
合計	16	13	3	1	33	57	57.9%

※在校生数は、平成29年度前期に休学している学生を含まない。(H29前期休学者:3名)

● 共通必修科目について

No.	設問内容	平均点	回答数
設問1	講義は、関心を持つことができた。	3.06	18
設問2	講義は、新しい知識や技術が習得できた。	3.22	18
設問3	講義は、職業に役立つ内容であった。	3.33	18
設問4	各科目で提示される学習目標が理解できるものであった。	3.28	18
設問5	授業のスケジュールは適切であった。	3.39	18
設問6	教員と学生とのコミュニケーションは円滑であった。	3.61	18
設問7	講義内容は、満足できるものである。	3.28	18

● 共通選択科目について

No.	設問内容	平均点	回答数
設問9	講義は、関心を持つことができた。	3.06	17
設問10	講義は、新しい知識や技術が習得できた。	3.24	17
設問11	講義は、職業に役立つ内容であった。	3.00	17
設問12	各科目で提示される学習目標が理解できるものであった。	3.41	17
設問13	授業のスケジュールは適切であった。	3.59	17
設問14	教員と学生とのコミュニケーションは円滑であった。	3.47	17
設問15	講義内容は、満足できるものである。	2.82	17

● 専門科目について(講義・演習)

No.	設問内容	平均点	回答数
設問17	講義は、関心を持つことができた。	4.05	21
設問18	講義は、新しい知識や技術が習得できた。	4.14	21
設問19	講義は、職業に役立つ内容であった。	4.14	21
設問20	各科目で提示される学習目標が理解できるものであった。	4.00	21
設問21	授業のスケジュールは適切であった。	3.86	21
設問22	教員と学生とのコミュニケーションは円滑であった。	4.24	21
設問23	講義内容は、満足できるものである。	3.90	20

● 特別研究について

No.	設問内容	平均点	回答数
設問25	特別研究の指導は、満足できるものである。	4.26	31

● 大学院における教育運営全般について

No.	設問内容	平均点	回答数
設問27	時間割の科目配置は適切であった。	3.44	31
設問28	教員は有職者に配慮した授業運営や指導を行っていた。	3.91	32
設問29	教育環境(施設、設備など)は適切であった。	3.50	32
設問30	研究環境は適切であった。	3.52	33